

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 理事会議事録

日 時：平成 27 年 11 月 29 日(日) 午後 2 時 30 分～午後 3 時 40 分

場 所：かながわ県民センター R709

出席理事：斎藤、片山、鈴木、川畑、半田、小野、日暮、松永、五木田、木村

出席監事：宇田川、薄井

出席顧問：なし(欠席:鈴木)

鈴木議長より議事録作成は五木田理事が務める事と議題(2)の【改革検討委員会の中止について】を議題(1)の【本部組織のあり方に対する支部長からの意見について】より先に審議する事の確認がなされた後、議事を開始した。

<議 題>

2. 改革検討委員会の中止について

最初に片山副会長より改革検討委員会発足についての経緯の説明と検討を中止にしたい旨の下記、説明がなされた。

当協力会規約が全面改正されてから 10 年が経過した事もあり、この機会に、規約改正を含めた当協力会のより良い方向への改革案(それに伴う付則・細則案の作成を含む)の検討を進める為、「改革検討委員会」を発足させたいとの提案が有り、片山副会長、鈴木副会長、半田理事の 3 名が準備スタッフとなり、発足に向けて準備を開始する事で作業を行っていたが、今年度に入り片山副会長より、

- ・ 委員会を作ってまで改革する案件が見当たらない事。
- ・ 一部の支部長より提出されている検討項目は理事会にて継続して検討する事。

及び、前回の理事会(7 月 26 日)にて委員会設立を中止との検討結果が出たが片山副会長 が理事会欠席の為、正式決定にまでは至らなかった等。

上記により「改革委員会」の設立は廃止となった。

1. 本部組織のあり方に対する支部長からの意見について

斎藤会長より会議のあり方、会の運営について下記に示す説明がなされた。

- ・ 協力会は横浜市からの依頼により立上げられた。
- ・ 横浜市から、それに値する団体として我々も活動する事が要求されている。
- ・ 組織上においても会則についても横浜市として評価していると思われる。
- ・ その事で今年、非常通信協議会から我々の団体が表彰された。
- ・ この事は横浜市からしっかりした団体として認められた事だと思っている。

- ・ 最近、組織のスリム化が言われているが行政とタイアップして団体活動を行うには現在の組織、会則、会議形態等のやり方で私は良いと思っている。
- ・ この事に関して先般、私、副会長と川畑事務局長の三役で意見交換したが、その結果、現在のやり方を踏襲する旨の確認がなされた。

上記の趣旨説明を元に理事会では、次の意見交換がなされた、

- ・ 一部支部長から提出されている意見については理事会で継続審議する。
- ・ 立場上支部長の意見か理事の意見か切り分けるのは難しい。
- ・ 改善したい意見をメールで事務局長に提出して、意見がある程度まとまった段階で優先順位を付けて臨時の理事会で討議する。
- ・ 議案に関する決定は時間の関係で今日出来ないので次回以降の理事会にて継続討議する。

上記の活発な意見交換がなされたが、議題の1.に関しては時間の制約が有り、本日結論が出せないなので継続して次回の理事会にて審議する事となった。

以上